

宮崎まちづくり活動団体情報

VOL 8

委員会メンバーが整備を進める雨山城址に目印の旗が立ちました



【歴史文化部会】

歴史文化探訪委員会（委員長 清水 カさん）

○歴史探訪ウォーキングを開催

令和3年1月31日と2月20日、委員会メンバーが集まり雨山城跡の整備を実施しました。写真は、城址跡の木を伐採し目印の旗を掲げ周辺から、どのように確認できるかを観察するものです。私たちの活動は、雨山城址に光を当て地域の歴史と文化を紐解くきっかけをつくるものです。歴史研究家を招き勉強会を開き、実際に雨山城址周辺を探索してきました。本年度は、メンバーの機運が高まり、雨山城跡を整備し、記念の石柱を建てる場所を確保するため付近の雑木等を伐採しています。同所から東側を眺めると、雨山ダム、浄水場及び風越峠、南側は、県道沿いの防火用水、西側は、企業団地及び集落の一部が見渡せる状況で、北側を見れば天使の森まで見ることができます。

今後の予定は、5月に石柱を立て、その披露のため除幕式を計画しています。そのために周辺の整備も考えています。登山道への標識や散策道の整備を進めていきたいと思えます。2月20日石碑の予定地として、周辺から見通せるように旗を立てました。風に揺れる白旗をご覧ください。（追伸：毎月第2火曜日の午後7時から市民ホームで会合しています。皆さんの参加をお待ちしております。）



人工的な石積み



狼煙を上げたと思われる場所



屋敷跡付近

【雨山城の歴史】1556年「雨山の戦い」の際に築かれた砦とされる。雨山領主阿知和修理定直は今川氏に叛いて織田方に着き、義元は東三河の七将に命じて雨山城を攻撃した。奥平貞能はこれを聞いて、急ぎ雨山城の救援に走り、8月3日「雨山合戦」となった。初め、先鋒の野田城主菅沼定村・定貴・定満3兄弟を破って優勢であったが、後続の本多忠俊らに破れ、再び今川氏の配下となった。城主に奥平修理定良の名もある。雨山城の場所は不明だが、地元の話では東アチワ〔雨山村古屋敷跡〕の谷奥の山上〔城山ノ入〕と云う。

【参照】 [愛知の城 雨山城 \(sakura.ne.jp\)](http://sakura.ne.jp)

【くらがり活性化部会】

くらがり活性化実行委員会（委員長 加山 茂さん）

〇くらがりの指定管理者に碧水会が再度承認

令和3年度よりバーベキュー場、キャンプ場の利用期間の延長をし、ソロキャンプやアウトドア人気に対応します。また、くらがり八景や歌碑の整備・案内表示をし、登山やハイキングを奨励します。岡崎市観光推進課が、渓谷内案内板を立て替え、オカザエモンが登場し明るく楽しいものになりました。「不動の滝」の案内板の立て替えも予定しています。老朽化したバンガローは、取り壊され来訪者に楽しんでもらえる施設に変わります。今年も彼岸花の植え付けを「花の木会」の皆さんと委員会で行い、紅葉前のくらがりの観光名所として大事に育てていきたいと思えます。

くらがり渓谷には「一升」さん、「Café KURAGARI」さん、「YOROZUYA」さん、豚丼の「トンガリ」さん、花の木会販売所、キッチンカー等の出店もあり、碧水会と共に頑張っています。額田の観光地として自然観察会・マスつかみ、釣り大会・紅葉まつり・スタンプラリー等、癒しスポットとして楽しめる場所ですので、皆さんも足をお運びください。

【サイクリング部会】

サイクリングの郷づくり委員会（委員長 山口和雄さん）

〇「宮崎学区のファンづくり」三つのお話

一つ目は、宮崎に移住された方の話です。「私もサイクリングが盛んな宮崎の活動に参加したい。家の改修に合わせトイレをお貸しできるようにして休憩スペースを用意したい。サイクルスタンドをいただけませんか。」との申し出をいただきました。さっそく「岡崎市ぬかたブランド協議会」に話をつなげ準備をしました。今後サイクリストサポーターには、「幸せの黄色い旗」を渡します。



二つ目は、MTBコースづくりに参加した地元の女性からのメールです。「引っ越して来た人は、宮崎を気に入って来てくれとても嬉しい。もっと好きになってもらい定住者からの発信で賑やかになると良いですね。」地元の方が、宮崎に転居された方に気を配り、応援していることが伝わりました。

三つ目は、コースづくりに関わる男性の話です。「僕は街の中に住んでいます。宮崎に来るようになって、新しい田舎ができたような気がします。サイクリングを通じて、地元の方と仲良くなり話ができるのがうれしい。」移住はできないけれど、宮崎に関わりたい気持ちが伝わりました。

3人の方のお話を紹介しました。最初の方は、宮崎に転居されて「定住人口」となられた方です。二番目の方は、定住された方を快く受け入れ、地元を活性化する活動家と言えます。最後の方は、定住はしないが、サイクリングを通して関わろうとする「関係人口」と言えます。この1年サイクリングに関わって活動してきたことで、多くの人と知り合い、認め合うことにより、私自身の生活にも大きな変化をもたらしてくれたと実感しました。宮崎を訪れ、宮崎の良さに触れ、宮崎のファンにな

る方が多くなることにより「関係人口」も増えていくでしょう。宮崎の現状を見つめ、お互いの立場で支え合いふるさとを活性化していくことができれば、こんなにうれしいことはありません。次年度も、それぞれの立場で試行錯誤しながら「宮崎ファン」を増やしていきたいものです。

【生活改善部会】

にぎわいづくり委員会（委員長 平木教男さん）

〇宮崎農協の購買部存続に向けて前進

宮崎店舗の運営責任者と検討を重ね、購買部存続の意向を書面にて提出したところ新たな営業指針がJA理事会で承認されました。宮崎店舗は、組合員や地域利用者からも生活の拠点であり存続が希望されている。今後、地元組合員及び地域住民の協力を得て「みんなで集落を支え、個人の生活を守る仕組みづくり」を構想していくことが了承されました。今後も、農協周辺が地域の拠点となるよう提案していきます。

【健康推進部会】

健康ウォーキング委員会（委員長 加藤勝彦さん）

〇宮崎地区の自然を楽しんでいただきたい

健康ウォーキング委員会は、自然に恵まれた宮崎学区で幸せ溢れる生活を送るための「健康づくり」の一環としてコースを設定し、美しい山々や木々を眺めながら自分のペースでゆっくり歩くことを考えています。10月には、くらがり渓谷にて「健康ウォーキング体験」を開催しました。講師を招き「歩き方の基本」「ウォーキングの効能」をお話いただき、健康に配慮しながらコースを歩きました。こうした健康療法は、「クワオルト健康ウォーキング」と称し、岡崎市では下山地区が実施することになりました。宮崎地区でも自然を楽しむコースを作り、生活習慣病予防や健康寿命の延伸に寄与できたらいいですね。コロナ過の中、自然豊かな宮崎の地できれいな空気を思う存分吸い、砂利道や土の道を登ったり下ったりしながら、健康でウォーキングを楽しめる毎日を送っていききたいと思えます。



【お知らせ情報】

宮崎まちづくり協議会お助け隊発足

〇行政区域を超えた草刈り支援隊

令和3年4月より、協議会が運営主体となり隣接市町村の県道沿いの草を刈ることができるようになります。総代会が中心となり通勤・通学の際、通行に支障がないように、住民の力で草刈りを実施するものです。詳細は、順次報告いたします。

★★★★

「宮崎まちづくり活動団体情報」への投稿を募集

※皆さんの活動を紹介します。ご連絡ください。

〇連絡先：TEL0564-83-2034 FAX0564-83-2074